小田がまち瓦版
地域活動情報紙

7 号　平成 20 年 11 月 1 日発行
発行元　小田地域振興センター
電話　6488-5441

尼崎小田高等学校放送部登場　―まちづくり井戸端会議―



市民運動小田地区推進協議会では、毎月第 1 木曜日午後 1 時 30 分からまちづくり井戸端会議を開催している。
8 月のゲストスピーカーは、放送部の甲子園とも言われる「ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト」と「全国高等学校総合文化祭（放送文化部門）」に 6 年連続出場しているほか、「たそがれコンサート」の司会など地域との関わりを大切に活動している小田高校放送部の部員のみなさんと顧問教諭の辻道真理子さんにお越しいただきました。

← 井戸端会議の様子

はじめに、ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト平成 19 年度優秀賞受賞作品で自転車をテーマとした「尼崎的自転車生活。」引き続いて平成 20 年度制作奨励賞受賞作品の銭湯がテーマの「380 円の温もり」をみせていただきました。
作品の長さはいずれも 8 分間。短い時間にも関わらず尼崎市の特徴を見事に捉えており、温かい人情味あふれた内容にその場にいた人たちはみなさん大感動でした。
その後、フリートーク。その中で 1 本 8 分間の作品が出来上がるまでに、半年かけて取材しテープの数が 60 分テープでなんと 20 本にもなることや、できあがった作品をたくさんの人にみてもらいたいというお話を伺いました。



↑たそがれコンサートの様子

井戸端会議に参加していただいた放送部員の 1 年生たちは、放送部の毎日の活動はどんなことをしているのか、取材のときのカメラアングルの撮り方など、いつもの学校の雰囲気とは違うなか、緊張した面持ちでしたが質問に対して丁寧に答えてくれました。
作品はイベント等で貸出しもしてもらえるそうです。興味を持たれた方は一度、小田高校放送部にお尋ねください。

「小田を語る」
～すきやねん！小田がまち！～

常光寺周辺には大企業が多く、ミドリ電化発祥の地である常光寺新町など、戦前には大変なにぎわいがありました。3 次にわたる区画整理により、町名も含め大きく変貌しましたが、地名の由来である浄光寺や皇大神社を中心とした連帯意識は昔と変わりません。
保健所や小学校がなくなり、周辺にも空家が目立つなど少し寂しい現在ですが、JR 尼崎駅や阪神杭瀬駅にも近く、落ち着いた住宅街として町並みが一変していくものと思います。
これからも昔ながらの温かい連帯感のあるまちづくりに取り組んでいきます。

倉本敏克さん
大正初めにできた酒屋を引継ぎ、地域の歴史を文書に残すなど、常光寺をこよなく愛する。平 10 年～単協会長、平 14 年～連協会長、平 20 年～社協小田支部会計として活躍されている。



まちづくり井戸端会議
毎月第 1 木曜
午後 1 時 30 分より
場所
小田支所 2 階西会議室
誰もが自由に参加し、環境問題や防犯、福祉などまちづくりについての意見交換・情報交換をしています。
ご参加ください。

地域活動団体紹介

地域で活動している団体・グループを紹介します！



長洲・清和子ども見守グループ

—蛍光の黄色のジャンパーが目印！—

趣　旨　　幼稚園・小中学生犯罪被害・交通事故防止
内　容　　登下校時、街角で事故防止を目的
日　時　　土日祝日以外毎日パトロールを行う
場　所　　長洲・清和小学校区全域

—こんな活動をしています！—

子どもの見守グループ活動ボランティアの人々は、老人会会員です。子どもの将来を夢に託し、今後、優しく美しく正しく成長する事を希望しています。

幼年期に犯罪に巻き込まれず、交通事故の無い日々を送り安心して勉強が出来る環境づくりに務めているグループで活動を始めて4年を迎えようとしています。今日まで事故もなく活動が出来た事は、老人クラブ会員、ＰＴＡ、一般市民の方々の協力のお蔭と喜んでいます。

犯罪と交通事故を未然に防止する事が子どもの見守り活動の役目であり、朝夕の子どもとの笑顔の挨拶を交わす事の楽しみと健康維持を伴っております。

長く続けられるよう、念願しています。

問合せ先　TEL6401-4833（坂本）



雨の日も
風の日も
見守活動を
しています。

じぃちゃんの手づくりおもちゃ



趣　旨　　昔からの手づくりおもちゃを通じて、青少年の健全育成に寄与し、子ども達と高齢者との世代交流も併せ持つ
活動日時　目標　年間20回
活動場所　幼稚園、保育所、小学校のこどもクラブ、ボーイスカウト体験入隊等、イベントのある所へ出向く
費　用　　材料費のみ
問合せ先　TEL6481-5900（牧本）

↓風車作り

↑笹笛作り

—こんな活動をしています！—

手づくりおもちゃを作る喜びを多く子どもたちに伝えたいと考えています。

じぃちゃんの手づくりおもちゃのメニューは、笹笛・竹笛・どんぐり笛・風車・ぶんぶゴマ・水鉄砲・空気砲・割り箸鉄砲・やじろべえ・たこ作り・猿の木登り等まだまだあります。

イベント・お祭り・こどもクラブ・おもちゃ作り教室などありましたら、是非お声をかけて下さい。





近松やまびこ会

お食事会サークル

趣　旨　高齢者を自宅から地域へ、みんなで支え合い助け合う
活動内容　会食と配食を通して「ふれあい」と「温もり」を醸成する
活動日時　毎月第1土曜日配食　第3日曜日会食（正午から午後2時）
活動場所　久々知第一福祉会館（但し年1回近松記念館）
費　用　毎食200円自己負担
問合せ先　TEL6491-7119（古川）



↑お食事会の様子

—こんな活動をしています！—
阪神大震災をきっかけに活動をはじめて、会食はこの11月で140回、配食は112回を数えます。運営は35人の久々知ボランティアサークルの皆さんと地域諸団体の皆さんで支え合い、助け合いながら楽しくやっています。
会食ではお食事のあとに健康体操やゲーム、歌を合唱し、毎月のお誕生会では花束を贈り、「ハッピーバースデイ」を合唱して記念写真を撮ります。
配食ではボランティアさんが「愛の一声訪問」をしています。



↑みんなで手遊び

まるちょうグループ
聴グループ

趣　旨　傾聴
活動内容　傾聴の学習を通じてボランティア活動を行う
活動日時　月1回　午後1時30分から午後4時30分まで
活動場所　小田支所3階　コミュニティホール
問合せ先　TEL6488-5441（小田地域振興センター）

今年の活動予定
11月18日（火）
12月16日（火）



—こんな活動をしています！—
脳の活性には、他人との交流が一番必要です。年齢に関わらずまずは、自分の為、若さ保持のためそして社会全体を見直していきたいものですね。一度皆の声を聴いてみて下さい。

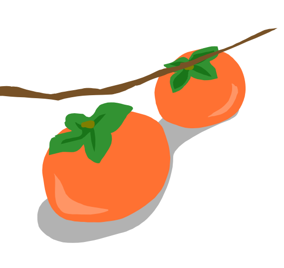
みんなでつくる“きずな”フェスタ

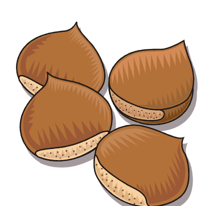
日時　平成20年11月16日（日）
　午前11時から午後4時(予定)
場所　中央地区県民交流広場及び開明中公園（旧開明小学校）
内容　今月号で紹介した「じいちゃんの手づくりおもちゃ」グループが参加します。
　他フォーラムや家族・親子寄席等開催予定です。
　是非足をお運びください。

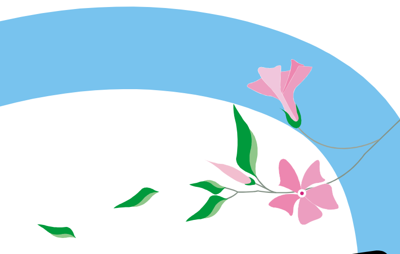
募集！
コミュニティルーム登録団体

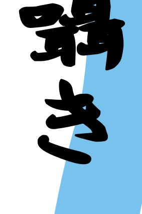
小田支所のコミュニティルームを利用したい方を募集しています。地域で活動しているグループの方、会議や研修の場としてご利用いただけます。

登録・問合わせ
　小田地域振興センター
　TEL6488-5441









アナログ＆デジタル

「巨人・大鵬・玉子焼き」団塊世代の多くがよく耳にした言葉である。戦後の混乱期にこの世に生を受け、目覚しい高度成長の過程の中で満足とはいかないまでも、仕事も順調に進み家庭の大黒柱として、家族の健康、子供の成長を念じた日々を送り、やっと一息ついたところでの定年退職であった。

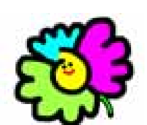
最近、困った事が起きている。身の回りを見渡すと、パソコン、ゲーム機、テレビ、ビデオ等あらゆる電気製品がところ狭しと並んでいる。どの機器も「リモコン」という遠隔操作のできる優れものである。

電気、メカに弱い私には、どうも上手く操作が出来ない。アナログ時代の我々にとって、デジタルの時代は恐ろしく感じる。

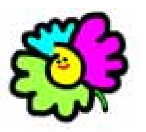
携帯電話は殆どの人が所持しているが、200ページにも及ぶ取扱説明書、誰が読みますか。操作に困ったとき、そのページを探すのにまた一苦労、最後の頼みは同一機種を持つ娘に聞き一件落着となる。これはほんの一例である。

団塊の世代と呼ばれても、世の中に遅れることは出来ない。何事も前向きに取り組み、社会に取り残されないよう頑張りたいものだ。（63歳・男性）





地域振興センターに「まちづくり参加相談窓口」を設置しています。地域で活動したい方も活動の情報提供をしたい方も、どうぞお立ち寄りください。



～これ１冊で小田が分かる？～

■小田の今昔が分かる・「郷土」
(A4版160頁　平成2年刊)

■小田の文化が分かる・「ふるさと」
（変型版90頁　平成7年刊）
(定価：「郷土」2千円「ふるさと」千円)

＊近世尼崎創設者「戸田左門氏鉄公傳」
＊尼崎市・小田村合併50周年記念冊子
＊尼崎市・小田村合併60周年記念冊子
（以上、部数限定で無料提供）

お問合せ・お求め先　小　田　会
TEL6488-5441（小田地域振興センター内）

北京オリンピック 祝！金メダル



ソフトボール
小田南中学校卒業　　廣瀬　芽さん
おめでとうございます！！

お知らせ・記事募集

紙面に載せる記事を募集しています。地域で活動中の方の活動紹介・イベント・会員募集等、小田地域振興センターまでお寄せください。小田支所内の掲示板も提供しています。

お問合せ先
小田地域振興センター
TEL6488-5441

編集後記

小田がまち瓦版7号をお届けします。
この瓦版、実はカラーなのですが印刷物は白黒。カラーを見てみたい！どんな感じかな？と興味を持たれた方は、尼崎市のホームページから小田地域振興センターのページを見てください。瓦版を掲載しています。
カラーでまた違った雰囲気の瓦版をお楽しみください。